

2025 年度事業報告について

1. 特定非営利活動の概要

2025年度は、特定非営利活動法人きょうと介護保険にかかわる会（以下「かかわる会」という）の理念・目的を達成するため、以下の活動を行いました。

- (1) オンブズマン養成事業では、中期計画で提案された「市民参加の促進」を念頭に、市民に複雑な介護保険制度や高齢者福祉の課題をわかりやすく伝えることにつとめ、当事者として主体的にかかわることができる市民を増やすことをめざしました。
- (2) 「介護・福祉サービス第三者評価事業」では、「伴走者」としての姿勢を大切にしつつ18件の評価活動を行いました。調査者、審査員の不足という課題は2025年度も解消できていません。特にリーダーを担える人材の増員が望まれます。
- (3) 広報・啓発事業では、全8ページの会報を隔月で6回発行しました。活動報告や介護保険関連の情報、会員の投稿など内容の充実をはかるとともに、配布先の拡充をめざしました。また、市民講座の動画アーカイブが充実してきました。会員はYoutube上で視聴することが可能です。
- (4) 調査・研究グループは、中期計画の提言を受けて調査活動と政策提言を連携させるための準備として、国や京都市の動向を注視した情報収集や、事例研究、研究者等とのネットワークづくりを進めています。
- (5) 昨年に続いて「よりよい介護をつくる市民ネットワーク」の事務局を担いました。大きな事業はできていませんが、情報共有や京都市への提言等を続けています。

2. オンブズマン養成事業（研修会等開催事業）

(1) 計画の達成度

- ① 研修会事業は、市民目線に立った活動ができる専門性の高い人材の育成と、超高齢社会に不安や関心を持つ市民が、かかわる会の活動に参画する機会とするために「かかわる会の市民講座」と名付け、目標どおり総会記念講演を含め、10回実施しました。詳細は表のとおりです。
- ② 研修会の内容は、会員アンケートを実施し、会員の要望に基づき介護保険や福祉、社会保障に関するテーマを基礎的な内容を含め取り上げました。あわせて、介護保険法の問題点や課題についても取り上げました。
- ③ 一方的に聞くだけの講演だけではなく、小グループに分かれて講師と一緒に考えて考え、疑問や思いを語り合える研修会も数多く行いました。
- ④ 4月は、介護施設への見学を実施しました。
- ⑤ 11月、2月、3月は京都市から後援をいただきました。5月の記念講演では京都市から後援、京都新聞福祉事業団から後援と助成金をいただきました。
- ⑥ 毎回、チラシを作成し、ひと・まち交流館京都のほか各所に配架。京都新聞まちかど欄、ふれあい欄には毎回掲載を依頼しています。研修会の参加者数については、さらに努力が必要です。

かかわる会の研修会 第146回

介護のイロハ（高齢者施設・住宅編）

～ 安心できる暮らしに備えて ～

有料老人ホームや高齢者の住まいや費用について、わかりやすくお伝えします。



公益財団法人京都府民センター 事業推進員
京都府高齢者福祉推進センター 所長
内山 貴美子さん

2025年
9月20日(土)
13:30 - 16:30

参加費
会費 3000円
入会費 5000円
申込不要

ひと・まち交流館 京都
3階 第5会議室

京都市下京区月形町五丁目5番8号
申込・TEL 075-821-0558 FAX 075-821-0559
mail: npo@kakarui.or.jp

かかわる会の市民講座 第146回

安心して認知症になれるまち

～ そんなまちをめざして、私たちにできること ～

認知症の患者さんには「人」が認知症にならず、その介護を要する人、認知症への対応は必ず必要です。2024年1月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、自治体での認知症ケアの重要性がより高まっています。この法律の趣旨と認知症ケアの重要性について、「認知症ケア推進法」の施行から認知症ケアの重要性、いざという時にできることなどについて考えていきます。



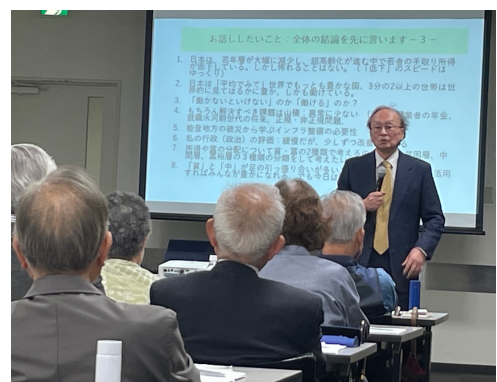
公益社団法人
認知症の人と家族の会
元代表理事 **鈴木森夫さん**

2025年
11月22日(土)
13:30 - 16:30

参加費
会費 3000円
入会費 5000円
申込不要

ひと・まち交流館 京都
3階 第5会議室

京都市下京区月形町五丁目5番8号
申込・TEL 075-821-0558 FAX 075-821-0559
mail: npo@kakarui.or.jp



総会記念講演 西村周三さん

(2) 2025年度研修会(市民講座)一覧

回 数	実施日	テーマ	講 師	会 場	参加者数
第143回	4月19日	野外研修会 特別養護老人ホーム御陵洛東園 施設長のお話と見学	特別養護老人ホーム 御陵洛東園施設長 川口 登喜一さん	洛東園 (山科区御陵)	15名
総会記念 講 演	5月24日	介護にどう向きあうか？～介護を 自分ごととして考えるために大切 な5つのこと～	京都大学名誉教授 西村 周三さん	ひと・まち 交流館 京都	66名
第144回	6月22日	介護保険の25年を振り返る ～誰もが安心して使える制度をめ ざして～	社会福祉法人七野会 理事長 井上 ひろみさん	ひと・まち 交流館 京都	26名
第145回	7月26日	ケースワーカーとして福祉行政に 従事して今思うこと	きょうと介護保険にか かわる会前副理事長 中川 慶子さん	ひと・まち 交流館 京都	31名
第146回	9月20日	介護のイロハ(高齢者施設・住宅 編)～安心できる老後に備えて～	京都府高齢者情報 相談センター所長 内山 貴美子さん	ひと・まち 交流館 京都	19名
第147回	10月18日	市民が議会を動かした ～京都 市ケアラー支援条例の制定プロ セスと課題～	京都市ケアラーネット代 表・立命館大学名誉教授 津止 正敏さん	ひと・まち 交流館 京都	16名
第148回	11月22日	安心して認知症になれるまち～そ んなまちをめざして、私たちにで きること～	認知症の人と家族の 会 元代表理事 鈴木 森夫さん	ひと・まち 交流館 京都	27名
第149回	1月24日	ヨーロッパゆったり旅の写真と体 験談でリフレッシュ！心がおちつ く、やさしい気功 会員交流会	会員： 吉川 正義さん 竹山 幸江さん	ひと・まち 交流館 京都	19名
第150回	2月22日	基礎から学ぶ介護保険 ～在宅サービス編～	公益社団法人京都府介護 支援専門委員会 理事 西村 聡さん	ひと・まち 交流館 京都	28名
第151回	3月22日	とっつきにくい介護保険 ～これを聞けばかかわれる～	会員・元佛教大学 教授 折坂 義雄さん	ひと・まち 交流館 京都	32名

3. 広報・啓発事業

(1) 会報の発行

① 概要

- ・発行回数：年6回（偶数月）
- ・体裁・ページ数：A4版8ページ
- ・発行部数：各号450部
- ・配布先：会員、介護・福祉サービス第三者評価受診事業所、京都府内77カ所の地域包括支援センター、関係行政機関や関係団体・関係者への送付。ひと・まち交流館京都内の市民活動総合センター、福祉ボランティアセンター、長寿すこやかセンターの展示書架等への配架。

② 広報グループ会議

毎月、広報グループ会議を開催しました。奇数月の会議では会報の編集企画について意見交換し、また偶数月（発刊月）の会議では会報の印刷原稿についての最終確認を行い、より魅力のある内容と見やすい体裁を実現できました。

会議ではかかわる会からの情報提供の内容や方法、会員に対して広報グループに入ることの呼びかけ、また市民参加促進を軸とした広報グループと研修グループとの統合のイメージや課題、市民参加促進のための事業計画について意見交換を行いました。

③ 会報の掲載内容

理事長による巻頭言、市民講座(研修会)案内や報告、会員リレーえっせい、介護保険の制度改定をめぐる動き、市民ネットワークの活動報告など、従来からの内容を継続して掲載しました。また 8 月に笠原副理事長が京都市高齢施策推進協議会の審議委員の委嘱を受けたことの告知、今後果たしていく役割について掲載しました。シリーズ物の「私の介護体験」ではこれまでの本人や家族の介護体験にとどまらず、高齢者施設や介護サービスにおける体験にも幅を広げて掲載しました。

■ 会報各号のページ建てと主な内容

号	146	145	144	143	142	141
発行日	2026.02.06	2025.12.05	2025.10.03	2025.08.08	2025.06.06	2025.04.08
1頁	訪問看護の不正請求に厚労省も素早く対処（梶宏）／目次	強い女性は歓迎していいが（梶宏）／目次	市民活動が世界を動かすと信じて！（梶宏）／目次	参院選結果を冷静に受け止めたい（梶宏）／目次	介護も医療も主人公は一般市民だ！（梶宏）／目次	25年間やってきてよかった！！（梶宏）／目次
2頁	1月講座・交流会・新年の集い報告（冬木）	10月講座報告（栗山）	市民の声を介護保険に！笠原副理事長が高推協委員に	半歩、前へ！かかわる会の新しいかたち。／2025組織図	総会の概要報告（正木）	2月研修会報告（中川）
3頁	1月講座・交流会・新年の集い報告（冬木）	10月講座報告（栗山）／介護保険ホットNews	ケアラー支援条例がスタート／トピックス／10月講座案内	7月研修会報告（竹山）	理事の退任・就任挨拶／懇親会報告（正木）	2月研修会報告（中川）
4頁	介護保険事業計画に市民の意見を	12月講座報告（萩原）	11月講座報告（梶政彦）	7月研修会報告（竹山）／6月研修会報告（正木）	総会記念講演報告（吉川）	3月研修会報告（萩原）
5頁	介護保険事業計画に市民の意見を	12月講座報告（萩原）	11月講座報告（梶政彦）／入会案内	6月研修会報告（正木）	総会記念講演報告（吉川）	市民ネットワークと京都市との懇談会報告（笠原）
6頁	高齢社会をよくする女性の会による実態調査の紹介	市民講座（研修会）についてのアンケート結果	介護保険ホットNews（冬木）	介護保険トピックス（冬木）／市民ネットから京都市への提案（笠原）	4月野外研修会報告（冬木）	総会・記念講演会案内／介護保険ホットNews（冬木）
7頁	私の介護体験／2月・3月講座案内	私の介護体験／1月・2月講座案内	私の介護体験／11月講座案内	私の介護体験／9月・10月研修会案内	私の介護体験／6月・7月研修会案内	私の介護体験／4月野外研修会案内
8頁	会員リレーえっせい（田中ひろみ）／編集後記／シルバ－川柳	会員リレーえっせい（中嶋康喜）／編集後記／シルバ－川柳	会員リレーえっせい（石原一恵）／編集後記／シルバ－川柳	会員リレーえっせい（島節子）／編集後記／シルバ－川柳	会員リレーえっせい（渡邊恵子）／編集後記／シルバ－川柳	会員リレーえっせい（新谷まさこ）／編集後記／シルバ－川柳

※研修会、講座の詳細は「2. オンブズマン養成事業」をご覧ください。

(2) 市民講座（研修会）の広報について

チラシの印刷原稿を作成し、外注印刷したチラシを会報に同封して発送したり、ひと・まち交流館に配架したりしました。京都市福祉ボランティアセンターや市民活動総合センターの Web 上の情報欄への掲載はスケジュール的にもむずかしく、掲載できませんでした。

会員以外の講座参加者で次回以降の案内を希望された方にチラシと会報を送付し、講座参加や入会に繋げることができました。

(3) ホームページ・SNS・動画の利用

2019 年 9 月より <https://npokaigo.or.jp> のドメインでスタートした会の公式ホームページに市民講座(研修会)の予告、報告、会報の発行について掲載しました。当会の Facebook ページでも市民講座(研修会)の告知を行いました。

市民講座(研修会)を動画配信して欲しいという会員からの要望に応じて以下の動画をアップロードし、会員には動画の URL をメールで送りました。

- ・総会記念講演「介護にどう向きあうか」西村周三氏
- ・6 月講座「介護保険の 25 年を振り返る」井上ひろみ氏
- ・7 月講座「ケースワーカーとして福祉行政に従事して今思うこと」中川慶子氏
- ・9 月講座「介護のイロハ(高齢者施設・住宅編)」内山貴美子氏
- ・10 月講座「市民が議会を動かした ケアラー支援条例制定のプロセスと課題」津止正敏氏
- ・11 月講座「安心して認知症になれるまち」鈴木森夫氏
- ・2 月講座「基礎から学ぶ介護保険 ～在宅サービス編～」西村聡氏

それぞれの講座の動画は下記の QR コードから見ることができます。

総会記念講演



6 月講座



7 月講座



9 月講座



10 月講座



11 月講座



2 月講座



(4) メールによる広報

会員のメーリングリスト登録者は 3 月末時点で 71 名、会員の約 7 割にあたります。講座案内や講座動画の URL、会報等をメール配信しました。事業計画では介護保険についての情報希望者を募り、メールマガジンの可能性について検討するとしていましたが、実現できませんでした。

(5) 啓発活動の具体化

啓発活動として介護保険への市民参加を促す取り組みを、研修グループと協力して行うことを心がけました。会報の記事としては、介護保険改定について審議されている内容を介護保険ホット News として取り上げ周知をはかりました。

4. 介護・福祉サービス第三者評価事業

(1) 介護・福祉サービス第三者評価事業の実施状況

2025年度調査の申込み件数は介護分野16件、障害分野2件、合計18件でした。今年度の特徴は、同一法人から複数の事業所（5事業所）の受診があったこと。また、受診された事業所のすべてがリピーターでした。

2025年度第三者評価事業 実施一覧(2025年3月31日現在)

No.	法人名	事業所名	主な受診事業	訪問調査日	調査者数	審査日
1	社会福祉法人チームYMBT	八幡市デイサービスセンター やまばと	通所介護	12月17日(水)	3名	2月28日(土)
2	社会福祉法人北丹後福祉会	特別養護老人ホーム 久美浜苑	介護老人福祉施設	10月15日(水)	3名	12月9日(火)
3	社会福祉法人北丹後福祉会	久美浜苑くまのの里	地域密着型介護老人 福祉施設入所 者生活介護	10月15日(水)	3名	12月9日(火)
4	社会福祉法人北丹後福祉会	久美浜デイサービスセンター	通所介護	10月16日(木)	3名	12月22日(月)
5	社会福祉法人北丹後福祉会	佐濃デイサービスセンター	通所介護	10月16日(木)	3名	12月5日(金)
6	社会福祉法人北丹後福祉会	久美浜居宅介護支援事業所	居宅介護支援	10月15日(水)	2名	12月5日(金)
7	社会福祉法人 京都福祉サービス協会	高野訪問介護ステーション	訪問介護	10月30日(木)	3名	12月6日(水)
8	社会福祉法人不動園	天ヶ瀬寮	生活介護・施設入所 支援	2月24日(火)	3名	4月中旬
9	社会福祉法人浩照会	介護老人保健施設 あじさいガーデン伏見	介護老人保健施設	2月17日(火)	3名	4月中旬
10	社会福祉法人浩照会	特別養護老人ホームあじさい苑	介護老人福祉施設	1月29日(木)	3名	3月13日(金)
11	社会福祉法人成光苑	ライフ・ステージ 舞夢	地域密着型介護老人 福祉施設入所者 生活介護	1月27日(火)	3名	3月27日(金)
12	株式会社 銭形	訪問介護 銭形	訪問介護	11月28日(金)	2名	1月16日(金)
13	社会福祉法人フジの会	モーツァルト七瀬川つつみ	共同生活援助 就労継続支援B型 相談支援	2月25日(水)	3名	4月中旬
14	ソーケンメディカル株式会社	ソーケンメディカル株式会社	福祉用具貸与	11月26日(水)	2名	1月16日(金)
15	社会福祉法人清和園	特別養護老人ホーム鳥羽ホーム	介護老人福祉施設	12月12日(金)	3名	1月30日(金)
16	社会福祉法人 くらしのハーモニー	デイサービスハーモニーこはた	通所介護	2月6日(金)	3名	4月上旬
17	社会福祉法人清和園	特別養護老人ホーム城南ホーム	介護老人福祉施設	3月24日(火)	3名	5月中旬
18	医療法人啓信会	介護老人保健施設 ひしの里	介護老人保健施設	3月12日(木)	3名	5月上旬

(2) 調査者のスキルアップについて

- ①調査者フォローアップ研修が支援機構主催で開催されましたが、当会からの参加者は2名でした。
- ②調査リーダーの養成について、当会独自の取り組みはできませんでした。

(3) 人材の確保

- ①新規評価調査者養成研修を1名の会員が修了され、調査者に加わりました。
- ②第三者評価調査者 分野別登録者数（2026年3月31日現在）

介 護	26人
障 害	15人
保 育	12人
児 童	3人

※登録上は左の表の通りですが、実働の人数は介護14人、障害9人、保育7人、児童3人となっています。

- ③審査会委員登録者数 9人

(4) 第三者評価応募事業所の拡大

- ①現在、第三者評価事業の広報は、京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構を通して周知を図るのみで、独自にはできませんでした。
- ②受診実績のある事業所へは、声かけを行いました。（3年毎の受診）

5. 調査・研究事業

(1) 活動の概要

調査研究および政策提言に取り組むグループの会議を8月以降毎月開催し、理事会にもその内容を報告しました。会議では今後の活動の進め方について意見交換し、また厚生労働省の社会保障審議会介護保険部会で進められている介護保険第10期改定審議の状況、他団体が行っている調査やアンケート結果、介護施設の事故報告や高齢者虐待調査結果の京都における状況などの情報を共有しました。

(2) 京都市高齢者施策推進協議会への対応

笠原副理事長が、京都市高齢者施策推進協議会（以下「高推協」）の委員に委嘱され、8月22日の会議から出席することとなりました。これに伴い、高推協の過去数年の審議内容やスケジュールを振り返るとともに、2026年度の第10期京都市民長寿すこやかプラン策定に向けた今後の会議を見据えて、準備を進めることを確認しました。具体的には、第9期すこやかプランおよびこれまで高推協に提出された資料を読み込み、課題の明確化を図るとともに、予算編成の変化についても理解を深めました。また、グループメンバーは可能な限り会議を傍聴することとしました。

(3) 調査研究の取り組み

2022年度に実施した地域包括支援センター実態調査の後継として2027年度に次回調査を行うことを決め、準備を進めることにしました。また京都市施策を評価するために他都市（同規模の神戸市・さいたま市・広島市や特徴的な取り組みを進める宇治市や生駒市等）との比較研究が必要であることを確認しました。

身近なところから地域の実態把握をするため、地域活動リーダー（上京区待賢学区住民福祉協議会会長）のヒヤリングを行ったり、上京区の地域包括支援センターの広報誌を収集したりしました。

(4) 大学研究者との連携

グループ会議で、調査研究および政策提言の事業を進めるためには意見やアドバイスをもら

える存在が不可欠であると話し合い、何人かの候補者の中から、まず同志社大学社会学部社会福祉学科の郭芳准教授に面会し、地域包括支援センター実態調査等への協力の承諾を得ることができました。

6. 関係諸団体との連携事業

(1) よりよい介護をつくる市民ネットワーク

マイケアプラン研究会、高齢社会をよくする女性の会・京都、助けあいグループりぼん、京都ヘルパー連絡会に当会を加えた5団体のネットワークで、今年度も当会が事務局を担い、梶理事長を代表として、9回の会合を持ちました。

活動としては、「第10期長寿すこやかプラン」策定のためのアンケートに対する意見を、京都市保健福祉局に提出したほか、「市長への手紙」の制度を活用して、『すこやか進行中!!』の記載内容について質問状を提出しました。

また、新たに生活クラブ京都エル・コープとの交流がうまれ、今後も協力し合うこととなりました。

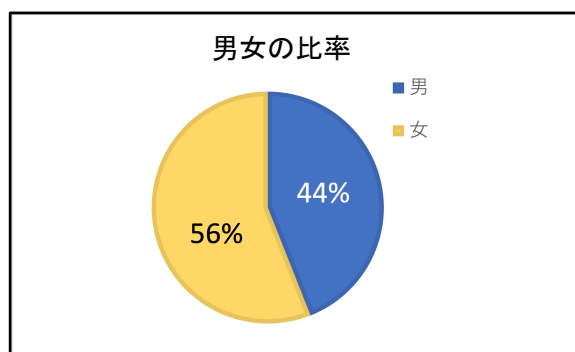
(2) ケアラー支援条例をつくろう！ネットワーク京都（略称：京都ケアラーネット）

2024年11月に「京都市ケアラーに対する支援の推進に関する条例」が制定されました。その後、ケアラーの負担軽減と孤独・孤立を防ぐため、当事者や支援者、行政が連携し、市民ぐるみで支援策を検討・推進するかなめとして、京都市ケアラー支援推進協議会が2025年6月に結成されました。当会も同協議会の参画団体となっています。

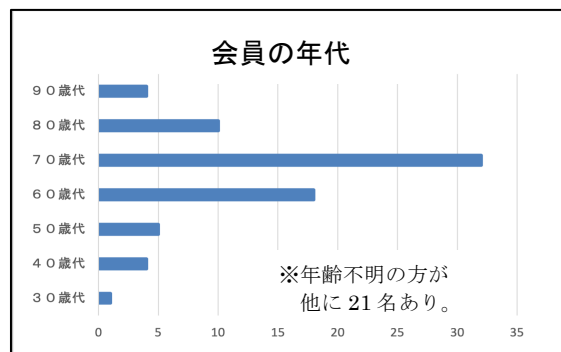
7. 会の運営（事務局）

(1) 会員数の動向

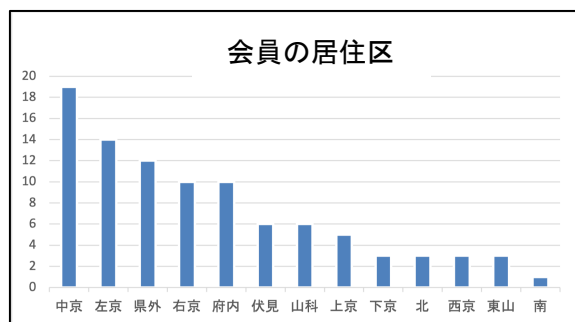
2024年度末の会員数は96名でした。この1年間で9名の新規入会者がありましたが、退会やご逝去により10名の減、結果的に2025年度末の登録会員数は95名となり、目標の100名は達成できませんでした。入会時のアンケートから見た会員の属性は以下のとおりです。年齢層は高めですが、会の活動に関心を寄せておられる方が多いことがわかります。



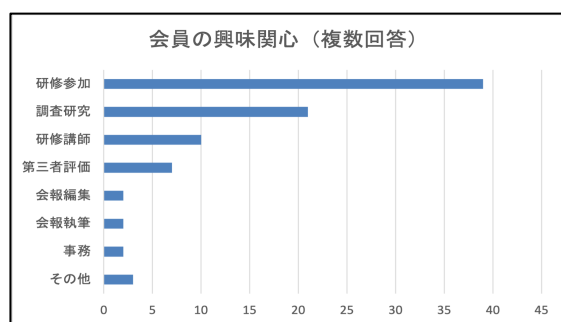
女性がわずかに多い



70歳代が中心



中京区が多いが、京都市以外の方も



研修参加、調査研究に関心

(2) 中期計画の具体化のために協議を重ねました。

2024年度末に提言された中期計画（5カ年）を具体化していくために、以下のスケジュールで議論を深め、2026年度計画に反映しました。

- ① 7月定例理事会：研修部門の課題抽出
- ② 8月定例理事会：広報部門の課題抽出
- ③ 9月定例理事会：調査研究・政策提言部門の課題抽出
- ④ 10月定例理事会：第三者評価事業/介護サービスの質の向上部門の課題抽出
- ⑤ 11月定例理事会：5カ年計画のゴールをどう定めるか
- ⑥ 12月定例理事会：5カ年計画のゴールと行程
- ⑦ 中期プロジェクト会議：今までの議論の整理とまとめ
- ⑧ 1月定例理事会：5カ年計画のアウトラインの確定
- ⑨ 2月定例理事会：中期計画の初年度としての2026年度事業計画案

(3) 人事

- ・笠原副理事長、京都市高齢者施策推進協議会の委員に就任（任期2年）
- ・中川副理事長退任後、副理事長は1名体制で推移。

(4) 会員交流の企画運営

- | | | |
|-----------------|--------|-------|
| ① 会員交流会「御肴凸鉢」 | 5月24日 | 19名参加 |
| ② 納涼懇親会 事務所 | 9月29日 | 14名参加 |
| ③ 歳末大掃除&忘年会 事務所 | 12月25日 | 15名参加 |
| ④ 新年懇親会「湊一や」 | 1月24日 | 13名参加 |

(5) 庶務

① 後援名義使用の承認

- ・梶寿美子さんコロコロコンサート（5月29日開催）
- ・島原地域包括支援センターより高齢者なんでも相談

② 寄贈品の受領

- ・イーパーツよりA3プリンター（複合機）の寄贈
- ・梶寿美子さんより事務所用のスリッパ寄贈

③ 保険の加入

- ・ボランティア保険：理事、編集委員
- ・福祉事業者総合補償制度「まごころワイド」：三評調査者、審査員



会員交流会 5月24日



歳末大掃除&忘年会 12月25日